

## 生活習慣病重症化予防事業の結果と分析

1. 目的
- ・受診勧奨域者およびコントロール不良者に関しては、医療機関への受診を勧奨し、適切な治療に結び付ける
  - ・フレイル予防に留意しながら、循環器疾患の予防となる血圧・血糖・脂質の項目に着目して支援する

### 2. 対象者および実施者について

【対象抽出条件】 対象年齢：75～77歳

- ①血圧：160mmHg/100mmHg以上（治療中者は、180mmHg/110mmHg以上）
- ②eGFR45未満
- ③心房細動（未治療）
- ④LH比4.0以上
- ⑤HbA1C6.5%以上または空腹時血糖126mg/dl以上または随時血糖200mg/dl以上で医療機関未受診または中断者
- ⑥生活習慣病（糖尿病・高血圧・脂質異常症のいずれか）で治療中だが、HbA1C7.0%以上もしくは糖尿病治療中者8.0%以上の者

【実施数（人）】 令和5年度は47名に保健事業の介入を行いました。

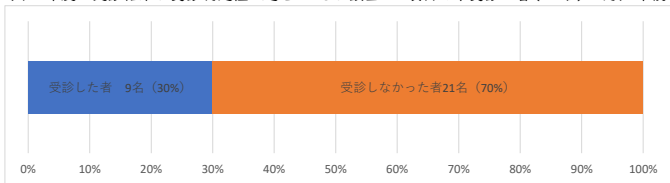
	R5
実施数(実)	47
実施数(延)	49

3. 実施方法 事前に対象者へ案内を送付し、個別面談、家庭訪問、電話、手紙等にて保健指導を実施。

4. 分析内容 令和5年度は47名に保健事業の介入を行いました。  
 該当項目で未受診で1年後に受診した者の人数については、KDBシステムの情報を活用し、分析を行いました。  
 1年後の健診データの状況については、健診の結果から分析を行いました。

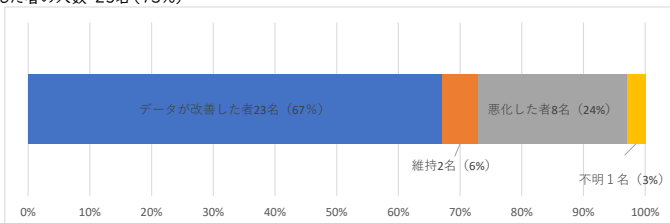
### 5. 結果

- (1) 令和5年度の健診結果が受診判定値を越えているが該当した項目で未受診の者（30名）の内、1年後に受診した者の人数 9名（30%）



令和5年度実施者の3割が受診につながった

- (2) 令和5年度の健診結果が受診判定値を越えていて、令和6年度も継続して健診を受診した者（34名）の健診データが維持・改善した者の人数 25名（73%）



令和5年度実施者の73%で、1年後の健診データが維持・改善できた

- (3) 社会保障費の削減効果について

令和5年度に介入し、令和6年度も継続して健診を受診した33名について、1年後の健診データが維持・改善できた者が25名であることから、生活習慣病重症化リスク者への介入による入院医療費を試算した。

入院一人当たりの医療費＝48,360円  
 25名が入院になることを予防できたと考えると、48,360円×25名＝1,209,000円（入院医療費）  
 介入したことによって削減できた入院医療費は、1,209,000円。

	恵庭市	国	国との差
入院一人当たりの医療費（円）	48,360	38,840	9,520
外来一人当たりの医療費（円）	34,740	34,630	110
入院費・外来費の合計のうち入院医療費の割合（%）	58.2	52.9	5.3

【出典】 KDB概票 地域の全体像の把握 令和6年度